

科目群	科目区分等	科目名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	1 単位 保育の内容・ 方法	社会的養護内容	鈴木 勲	1・2 年次	春・秋

授業のキーワード	専門職に求められる倫理と専門性、子ども虐待、社会的養護にかかわるソーシャルワークの方法と技術
授業の概要・目的及び修得させる知識・技能	社会的養護下にある子どもへの援助及び具体的な支援方法と内容に関する知識を深め、保育者としての資質を高めていくことを目的とする。
履修のアドバイス・前提科目等	事例検討やグループワークも実践するため、講義への積極的な参加が望まれる。

授業展開

	テーマ	内 容		テーマ	内 容
第 1 講	イントロダクション	講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。	第 9 講	社会的養護における支援の計画と内容及び事例分析	個別支援計画の作成方法と事例分析を行う。
第 2 講	子どもの社会的養護の基本的な考え方	子どもの社会的養護の理念と概念について学ぶ。	第 10 講	虐待問題と児童養護	児童虐待の現状と対応について学ぶ。
第 3 講	子どもの社会的養護の歴史と概要	日本及び欧米の児童福祉観の変遷について理解する。	第 11 講	今後の課題と展望	社会的養護の課題と展望について理解する。
第 4 講	施設における子どもの社会的養護	施設養護の特質と機能、基本原理について学ぶ。	第 12 講	養護施設の実践紹介	さまざまな施設とそこで行われている実践例を紹介する。
第 5 講	児童福祉施設の運営・管理と援助者	施設の管理・運営について学ぶ。	第 13 講	福祉施設実習に向けて	施設実習の目的と実習に向けての基本的な事項を習得する。
第 6 講	施設養護の職員	施設専門職の役割や他職種とのチームワークについて学ぶ。	第 14 講	授業のまとめと振り返り	本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明もを行う。
第 7 講	施設養護における基本的な援助技術	施設養護における基礎的な援助技術を理解する。	第 15 講	定期試験もしくはレポートの提出	
第 8 講	社会的養護の実際	施設での日常生活を理解する。	評 価 方 法		出席 60%、定期試験 40%の配分とする。また、毎講義リアクションペーパーの提出を持って出席とする。
備考 (関連する資格・試験等)	授業展開は予定であり、授業の進度などにより、内容などが変更される場合もある。				
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
松本峰雄編著『子どもの養護－社会的養護の原理と内容－』建帛社 2011 年			浅井春夫編著『児童福祉施設・児童相談所・学校 子どもの暴力対応実践マニュアル』建帛社 2011 年 その他の文献については、随時、授業中に紹介する。		